

## 共有すべき事例

### 2019年 No.10 事例1 疑義照会に関する事例

#### 事例

##### 【事例の内容】

患者は足の痛みを訴えて医療機関を受診した。医師から痛風発作による痛みであると診断され、痛み止めの薬剤とフェブリク錠20mgを処方された。患者から、痛風治療薬が処方されるのは初めてであること、処方医から二剤を同時に服用開始するように指示されたことを聴取した。処方医に疑義照会を行った結果、フェブリク錠20mgはフェブリク錠10mgへ変更になり、痛みが治まってから服用を開始することになった。

##### 【背景・要因】

患者は痛風発作を起こしていたため、フェブリク錠の服用による急激な尿酸値の変動により発作が増悪する可能性がある。発作が治まってからフェブリク錠の服用を開始し、その際の投与量は10mgが望ましいと考え、疑義照会を行った。

##### 【薬局が考えた改善策】

添付文書の情報を把握し、痛風発作を起こしている場合の薬物治療についても理解する。

#### その他の情報

フェブリク錠10mg／20mg／40mgの添付文書（一部抜粋）

##### 【用法・用量】

<用法・用量に関連する使用上の注意>

##### 1. 痛風、高尿酸血症

尿酸降下薬による治療初期には、血中尿酸値の急激な低下により痛風関節炎（痛風発作）が誘発されることがあるので、本剤の投与は10mg 1日1回から開始し、投与開始から2週間以降に20mg 1日1回、投与開始から6週間以降に40mg 1日1回投与とするなど、徐々に増量すること。

##### 【使用上の注意】

##### 2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤は尿酸降下薬であり、痛風関節炎（痛風発作）発現時に血中尿酸値を低下させると痛風関節炎（痛風発作）を増悪させるおそれがある。痛風、高尿酸血症の治療に際し、本剤投与前に痛風関節炎（痛風発作）が認められた場合は、症状がおさまるまで、本剤の投与を開始しないこと。

#### 事例のポイント

- 高尿酸血症治療剤は、服薬を開始するタイミングや初回投与量に注意が必要である。
- 患者に安全で有効な薬物療法を提供するためには、添付文書の用法・用量だけでなく使用上の注意についても十分把握し理解したうえで患者への聞き取りを行い、その情報に基づいた処方監査を行うことが重要である。

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。

※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

## 共有すべき事例

### 2019年 No.10 事例2 疑義照会に関する事例

#### 事例

##### 【事例の内容】

患者にスピロラクトン錠25mg「CH」4錠分2が継続して処方されており、今回も7日分が処方された。患者に血液検査の結果を確認したところ、今回の血清カリウム値が5.6mEq/Lであることを聞き取り、前回の4.2mEq/Lから上昇していることがわかった。処方医に処方の継続について疑義照会した結果、処方が削除になった。

##### 【背景・要因】

抗アルドステロン性利尿・降圧剤であるスピロラクトン錠25mg「CH」はカリウム保持性利尿剤であり、カリウム値の変動に注意を要する薬剤である。

##### 【薬局が考えた改善策】

検査値に影響を及ぼす薬剤が処方された際は、血液検査の実施の有無を確認し、検査値を聴取する必要がある。

#### その他の情報

スピロラクトン錠25mg/50mg「CH」の添付文書（一部抜粋）

##### 【使用上の注意】

##### 2. 重要な基本的注意

(1) 連用する場合、高カリウム血症等の電解質異常があらわれることがあるので、定期的に検査を行うこと。

##### 4. 副作用

(1) 重大な副作用（頻度不明）

1) 電解質異常（高カリウム血症、低ナトリウム血症、代謝性アシドーシス等）：高カリウム血症、低ナトリウム血症、代謝性アシドーシス等の電解質異常があらわれることがあるので、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。また、電解質異常に伴い、不整脈、全身倦怠感、脱力等があらわれることがあるので、このような場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

#### 事例のポイント

- 処方された薬剤により出現する可能性がある副作用や検査値異常について把握したうえで、患者から副作用の初期症状の有無や検査値などの情報を収集し、処方監査を行うことが重要である。
- 薬学的管理を行うには、処方の変更や中止による患者の状態の変化や検査値の推移を把握することも重要である。
- 患者に関する情報は薬剤服用歴などにその都度記録し、継続的に管理することが望ましい。

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。

※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>

## 共有すべき事例

### 2019年 No.10 事例3 一般用医薬品等の販売に関する事例

#### 事例

##### 【事例の内容】

来局者から、頭痛がするのでロキソニンSプレミアムとガーゼを購入したいと申し出があり、販売した。その際、ガーゼを使用する目的を確認すると、痛み止めの市販薬を服用後に腋下が赤くなり、水疱ができて皮膚がめくれたことを聞き取った。服用した市販薬は2種類あり、薬剤名を聞き出して成分名を確認した。その2種類に共通している成分にアリルイソプロピルアセチル尿素があったため、皮膚症状の原因がアリルイソプロピルアセチル尿素である可能性を疑った。念のため、ロキソニンSプレミアムに含まれる成分を確認すると、アリルイソプロピルアセチル尿素が含まれているため、アリルイソプロピルアセチル尿素を含まないロキソニンSへの変更を患者に提案した。さらに、過去にロキソニンSを服用したことがあり、その後に異常がなかったことも確認して販売した。2日後、皮膚症状は改善したと報告を受けた。

##### 【背景・要因】

販売する薬剤の主成分以外の成分について把握していなかった。

##### 【薬局が考えた改善策】

市販薬を販売する際は、症状や服用中の薬剤、副作用歴などの確認すべき情報を聴き取る。薬剤の副作用が疑われる場合は、医療機関へ受診する必要があるか判断する。販売に関する情報は、スタッフ間で共有する。

#### その他の情報 (添付文書より一部抜粋)

販売名	ロキソニンSプレミアム	ロキソニンS
成分	ロキソプロフェンナトリウム水和物 アリルイソプロピルアセチル尿素 無水カフェイン メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	ロキソプロフェンナトリウム水和物

#### 事例のポイント

- 一般用医薬品はいくつかの成分を配合した製剤が多く販売されているため、一般用医薬品による副作用が出現したときは原因となる成分を特定することが難しい場合がある。
- 薬剤の服用により生じる薬疹には、生命予後を脅かす重症薬疹も含まれる。症状や経緯などを聴取して皮膚科専門医への受診を勧めるべきか判断することは、薬剤師に求められる重要な役割の一つである。
- 要指導医薬品や一般用医薬品を販売する際は、販売する医薬品の副作用歴を確認することはもちろんであるが、同成分や同効薬を含む他の一般用医薬品や医療用医薬品の副作用歴についても確認することが重要である。

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。

※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0281(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>